

信 毎 歌 壇

小池 光 選

甘味屋の小豆白玉シヤリシヤリと夏の終わりを我に告げよ
 (松本市) 堀内 悠子
 遠花火一人厨で聞きながら酒の肴の薬味を刻む
 (松川村) 岡 豊村
 話す声勢い弱く衰えし母との面会それでも楽し
 (長野市) 高崎 雄
 お世辞だとわかってをれと快く胸にひびきぬ言葉は不思議
 (佐久市) 白田幸多子
 露草がそこにと聞けば浮かぶ青見えぬ眼でじつと見つめる
 (東御市) 広沢里枝子
 一篇の詩を思わせる河骨の黄の花咲くやそのつつましき
 (小布施町) 市村 憲彦
 世を静め癒すがごとくひびくなりセリーヌ・ディオンの「愛の讃歌」は
 (伊那市) 堀米 好美
 盆踊り巨大きゆうりで馬作の近所さんもお乗りくだない
 (長野市) 原山 伸子
 生き残る街の片隅にラーメン屋今日も小さな灯りを点す
 (長野市) 近藤 光子
 遠き日に女先生我に言はるは教師になったらいいと
 (長野市) 松本 博人

佳作
 近すけばとてもきれいな羽根をどじわしたしをじつと見ている孔雀
 (千曲市) 荒井よし子
 夏風邪に天井ばかり見つけてははるかな尾瀬はさくらに遙かに
 (御代田町) 吉家 一美

第一首、ごく単純な歌だが、そこがよい。わたしも小豆白玉というものが食べたくなった。暑い暑い夏が終わっていつしか秋の気配がする。第二首、一人暮らしの方だろう。晩酌の薬味を刻む。遠く花火の上がる音がする。孤独である。孤独は歌の大切な要素。第三首、施設の母を訪ねる。声の力が弱くなったように感じられる。老いはさびしい。第四首、これも言葉の歌。ほんとうに不思議なもの。

小島 なお 選

野分雲渦巻く夜にがうがうと共食ひしる赤き狼犬
 (小諸市) 加藤 陽介
 迎へ盆サイドミラーに縛りきて自分の姿を眺めてるたり
 (木曾町) 新村 亮三
 押入れに名入れ手ぬぐい箱いっぱい話つきない夏草だった
 (小布施町) 市村志津枝
 日々疎々しくなりゆきて村人の神楽の仕草たたりと記す
 (坂城町) 春日 武
 終戦日竹槍磨きいし祖父は落下傘兵下から突くと
 (松本市) 平林 大喬
 生き別れた離婚めく夏水仙の咲いて妻恋う施設の居室
 (豊丘村) はやしのもりんと
 早々と一面の霧の道の辻影絵のごとき幽か人影
 (富田町) 田辺 道人
 われの住む町の二倍の四万人空爆によるガザの死者数
 (飯山市) 市村紀久子
 食品の消費期限を見て思ふこの日自分は生きてるだろうか
 (佐久市) 中田 恭子
 手すり手、駅の階段のぼりゆく、手すりは音を引き上げてくれる
 (上田市) 宮下 忠

佳作
 スーパーで変わらぬ値段十九円もやしをカゴに三つ入れたら
 (飯島町) 酒井千代美
 立てられた「熊に注意」の看板を声出して読むふれあい広場
 (麻績村) 小山みよ子

第一首、台風を呼ぶ不穏な雲の渦。暴風に「阿」が「咩」を(あるいはその逆か)のみ込むような異界が口を開く。第二首、蜻蛉は誰の生まれ変わりだろう。かりそめのすずしい自分の姿にじつと見入っている。第三首、手ぬぐいに印刷されたいまはもうない店の数々。夏草のように懐かしい記憶がそよぐ。第四首、周りからやや距離をとっているほの暗いまなざし。下句の描写への展開が卓抜。

米川 千嘉子 選

「旭」とう人工着色したりんご高値で売れたおかしな昭和
 (長野市) せきたつお
 遠き日の社会科見学駅員の仕事おほかた今の世になく
 (長野市) 原田 浩生
 花の名をひとつ覚えて感情の器に薄く掛ける釉薬
 (松本市) 飛 和
 はしゃぐ人はしゃげない人見極めてカモメは遊覧船をはなれる
 (長野市) 原田りえ子
 都会より帰省せし子を取り囲み新千円札を見せてもらいし
 (上田市) 小林さよ子
 十一時二分長崎の鐘は鳴り渡る三歳の記憶いまだ残り
 (駒ヶ根市) 三岳みちよ
 夫の名の書かれた鉄を子が使ふ汗の染みあと地図のごとしも
 (中野市) 小林かつ子
 天空の病室にいてこと両の手に思いきり抱く澄んだ青空
 (長和町) 羽毛田 栄
 手際よく車椅子組み立て呉れし夫に添われてスパーを漕ぐ
 (茅野市) 五味みさほ
 縄暖簾分けてみんなを招き入れ隅に座りし彼が先逝く
 (長野市) 松本 博人

佳作
 薪能ぬけ出て焼き鳥食べし事いまだに内緒二人の秘密
 (松本市) 田中しほす
 入れ代り立ち代り水求め来る水鉢ハチ・アマガエル・ネコ
 (安曇野市) 東野 行岳

第一首、「人工着色」とはまだ実が青いうちに採って日に当てることで、木にあるよりも均一に美しく赤くするという(初めて知った)。味より見かけという風潮は本当に昭和で終わったか? 第二首、仕事とともになくなった多くの喜びもあろう。第三首、花や花の名前が人を深呼吸させ整えてくれる感覚だと理解した。第四首、カモメ用の餌を買って楽しむ人とそうでない人、を鳥も知っている。